10月 給食だより

おひさま岡町保育園　給食室
2023 年度
9 月 29 日（金）
発行

今年は残暑厳しい日々が続いています。しかし、店先には秋の味覚が次々と並び、食べるのが楽しみになりますね。先日、八百屋さんから「黄色いとうもろこしの旬が過ぎて、今は白いとうもろこしが入っています」と、真っ白なとうもろこしが届きました。いつもと違う真っ白なとうもろこしごはんおにぎりに“え、なにこれ？”と驚くこどもたち。八百屋さんからの話を伝えると、“なんか、いつもより甘い！！”と、黄色いとうもろこしとの違いを感じて食べていました。同じ野菜でも、気候の変化に伴っておいしい品種が変わっていきます。八百屋さんとのやり取りの中で、そんなことも教えてもらいながら、こどもたちと旬の味を味わっていけたらと思っています。“食欲の秋”を楽しみたいと思います。

ひまわりのお米が収穫できました

5 月にひまわりぐみが田植えをした止々呂美の田んぼ。今年は何度か止々呂美に足を運び、稲が育つ過程を目にすることができました。そして、先月稲穂がたわわに実りました。ひまわりぐみで田んぼ一面の稲刈りに挑戦しました。“かったーい！”と、はじめはなかなか鎌を手前に引くことができません。それでも、進めていくうちにコツをつかみ、“どんどん楽しくなってきた～”と、稲刈りの楽しさを感じているこどもたちでした。

「刈る人」、「稲を運ぶ人」で役割を分担しながら、約 2 時間かけて一面を刈り終えました。“やったなぁ”と、みんなで喜び合うこどもたち。暑い中とてもよくがんばり、達成感でいっぱいでした。

先日、精米されたお米が保育園に届きました。約20kgのお米になりました。お米ができる過程に関わる機会を提供してくださったいば農園の方の思いや、ひまわりぐみのがんばりがたくさん詰まったお米です。10 月にいばさんを招いて、新米パーティを計画しています。

身体も心も大きくなったこどもたち

～乳児編～

今年度も気づけば半年が過ぎ、身体も心も大きくなったこどもたち。食べる場面でのこどもたちの成長を紹介できたらと思います。

＜つくしぐみ＞

全員が中期食以上の離乳食を食べています。いろいろな食材を、つぶしたり、噛んだりして上手に食べています。自分で食べたい思いが膨らみ、手づかみ食べやスプーンを使おうとする姿がたくさん出てきました。

＜れんげぐみ＞

自分で食べることが、とても上手になり、スプーンをつかって食べる姿が増えてきました。好みも出てきて、好きなもの、嫌なものをしっかり表現しながら食べています。

＜たんぽぽぐみ＞

“これなに～？”と、いろいろな食材に興味を示しながら食べる姿が出てきました。『いっしょ』が嬉しくて、お友だちや大人と同じものを一緒に食べることを楽しんでいます。

＜すみれぐみ＞

身体の中心が育つと手先も器用になってきます。スプーンを三指で持って食べることが食べやすくなっている子がたくさんいます。お箸が使える手に育ってきています。

“食べる”ことでも運動会を楽しんで♪

いよいよ 1 週間後に迫った運動会。運動会前日には、給食室から、こどもたちに、“運動会たくさん楽しんでね”“運動会がんばってね～”の思いを込めて、特別ランチをつくります。幼児では、毎年、“目つぶって、せーの！でみよ～”と声を掛け合っています。目を開けた時のこどもたちの喜びの顔を見るのが、給食室にとっての至福の時です。今年も、こどもたちの気持ちの支えになる給食を考えたいと思います。

そして、今年は 20 日（金）に“運動会たのしかったよ”クッキングをします。こどもたちの楽しかった思いを、料理で表現してみんなで味わいます。

運動会特別ランチや、たのしかったよクッキングの様子は、後日おたよりや掲示物で紹介します。お楽しみに。